

フィリップ モリスは、包括的たばこ  
規制を支持します

平成 17 年 11 月 8 日

第 19 回厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会資料

2005年11月8日

厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会

フィリップモリス ジャパン株式会社  
コーポレートアフェアーズ  
ディレクター ピーター・ニクソン

## フィリップモリスは包括的たばこ規制を支持します

### Resume

1. フィリップモリス ジャパン株式会社の概要
2. 包括的規制
3. 喫煙のリスクについて人々の意識を高める
4. 禁煙に関する情報提供
5. 未成年者喫煙問題
6. 公共の場所での喫煙問題
7. たばこ税について
8. 有害な物質を減らす可能性のある製品の開発

添付：

参考資料 フィリップモリス インターナショナル インターネット・サイト (抜粋)

フィリップ モリス インターナショナル  
インターネット・サイト（抜粋）

目次

1.	喫煙と健康	1
1. 1	健康への影響	2
1. 1. 1	喫煙と妊娠	4
1. 1. 2	依存性について	5
1. 2	禁煙	6
1. 3	紙巻きタバコに含まれているもの	8
1. 3. 1	紙巻たばこの成分	9
1. 3. 2	タールとニコチンの量	11
1. 4	環境中たばこ煙	14
1. 5	研究と開発	16
2.	私たちのビジネス	17
2. 1	たばこ規制	19
2. 1. 1	公共の場所における喫煙規制	21
2. 2	世界的なたばこ規制	23
2. 3	取引規制	24
2. 3. 1	密輸問題	25
2. 3. 2	偽造問題	26
2. 3. 3	たばこ製品のインターネットおよび通信販売	28



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

## 喫煙と健康

## より詳しい情報

健康への影響

禁煙

紙巻たばこに含まれているもの

環境中たばこ煙

研究と開発

### 明確で一貫したメッセージ

喫煙には依存性があります。禁煙はとても難しいことかもしれませんが、このために禁煙をあきらめるべきではないでしょう。

喫煙は喫煙者に肺がん、心臓病、肺気腫、その他重大な疾病を引き起こします。喫煙者が肺がんなどの疾病にかかる割合は、非喫煙者に比べるとはるかに高くなります。「安全な」紙巻たばこというものはありません。

### 喫煙は危険であり、依存性があります

喫煙する人はその危険性を十分に理解しておく必要があります。このセクションでは喫煙が健康に及ぼす影響や、禁煙に役立つ情報などをお伝えしています。また、より詳細な情報を提供している公衆衛生当局やその他関連機関のウェブサイトへのリンク、当社のたばこ製品の成分、たばこの煙に含まれている化学物質についての情報などもご覧いただけます。

私たちは、たばこ製品を販売しているすべての地域で、喫煙、疾病そして依存性についての公衆衛生当局の明確で一貫した見解に同意しています。健康に対する警告をたばこのパッケージや広告に表示することをたばこ会社に義務づける法律も支持しており、このような法律のない国々では、パッケージ、カートン、広告に自主的に警告文を表示しています。私たちは、喫煙に関するさまざまな事実を、より一層広く皆様に知っていただきたいと考えています。

喫煙と健康に関する詳細については、左の項目からご覧ください。

友人にメールを送る

### 内部リンク

リスクを低減する製品  
更なる情報

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

国際がん研究所(英語)  
更なる情報

世界保健機関: 喫煙と依存性について(英語)  
更なる情報

ホーム 検索 サイトマップ ご利用規約 インターナショナルサイトに戻る



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

## 健康への影響

## より詳しい情報

### ▼健康への影響

喫煙と妊娠

依存性について

禁煙

紙巻たばこに含まれているもの

環境中たばこ煙

研究と開発

### 喫煙の健康への影響について

喫煙と喫煙者の疾病について: 喫煙は喫煙者に肺がん、心臓病、肺気腫、その他重大な疾病を引き起こすというのが医学・科学上、圧倒的多数の見解であり、当社はこの見解に同意しています。喫煙者が肺がんのような重大な疾病にかかる割合は、非喫煙者に比べてはるかに高くなります。「安全な」たばこというものはありません。これらは、世界各国の公衆衛生当局が発してきた一貫したメッセージであり、喫煙者やこれから喫煙しようと考えている方は、こうしたメッセージを踏まえたくて喫煙に対する意志決定を行うべきでしょう。

喫煙と喫煙者の疾病に関して公衆衛生当局が提供している情報の詳細については、右のリンクをご覧ください。米国公衆衛生総監報告(US Surgeon General's report)の要約と結論については、表示されている年度下のリンクからご覧いただけます。

喫煙と依存性について: 喫煙には依存性があるというのが医学・科学上の圧倒的多数の見解であり、当社はこの見解に同意しています。禁煙はたいへん難しい場合があります。しかし、そのことが禁煙したいと思っている喫煙者に禁煙をあきらめさせる要因となつてはならないと考えています。禁煙に関する詳しい情報については、右のリンクをご覧ください。

喫煙と依存性について公衆衛生当局が提供しているさまざまな情報もこのページからご覧いただけます。例えば、以下のようなものが挙げられます。

- 「紙巻たばこをはじめ、各種たばこ製品には依存性があるとの判断は、薬物依存を定義する際の標準的な基準に基づいている」(米国公衆衛生総監:US Surgeon General)
- 「世界保健機関は、喫煙を依存として分類している」(世界保健機関:WHO)
- 「紙巻たばこや煙の出ないたばこに含まれるニコチンは依存を引き起こし、それを持続させる」(米国食品医薬品局:US Food and Drug Administration)

喫煙とその依存性について公衆衛生当局が提供している情報の詳細については右のリンクからご覧ください。

公衆衛生上の一貫した見解を支持: 当社は、喫煙が喫煙者にさまざまな疾病を引き起こす要因となることおよび喫煙と依存性についての、公衆衛生上の一貫した見解を支持しています。健康に対する警告をたばこのパッケージや広告に表示することをたばこ会社に義務づける法律も支持しており、表示する警告の内容は政府および公衆衛生当局が決定すべきであると当社は考えています。

友人にメールを送る

### 内部リンク

たばこ規制  
更なる情報

リスクを低減する製品  
更なる情報

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

国際がん研究所(英語)  
更なる情報

世界保健機関:喫煙と依存性について(英語)  
更なる情報

米国疾病対策センター:喫煙が健康に及ぼす影響(英語)  
更なる情報

米国人がん協会(英語)  
更なる情報

### 米国公衆衛生総監報告

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

2004年度報告  
更なる情報

2001年度報告  
更なる情報

2000年度報告  
更なる情報

1998年度報告  
更なる情報

1994年度報告  
(PDF,25KB)  
更なる情報

1988年度報告(PDF,35KB)  
更なる情報

1984年度報告  
(PDF,32KB)  
更なる情報

1983年度報告  
(PDF,25KB)  
更なる情報

1980年度報告  
(PDF,31KB)  
更なる情報

1979年度報告  
(PDF,82KB)  
更なる情報

1964年度報告  
(PDF,57KB)  
更なる情報

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

## 喫煙と妊娠

## より詳しい情報

### ▼ 健康への影響

#### 喫煙と妊娠

依存性について

#### 禁煙

紙巻たばこに含まれているもの

環境中たばこ煙

研究と開発

喫煙する女性は妊娠しにくくなったり、不妊症、妊娠合併症、早産、流産、死産などのリスクが高まります。妊娠中に喫煙する女性から生まれる乳児の出生時の平均体重は、喫煙しない妊婦から生まれる乳児の体重より低くなっています。また、妊娠中に喫煙する女性から生まれる乳児は乳児突然死症候群(SIDS)にかかるリスクが高まります。妊娠前あるいは妊娠中に禁煙すると、妊娠・出産などに及ぼす悪影響のリスクを減少させることができます。また妊娠中の喫煙は赤ちゃんの肺の発育不良、喘息、呼吸器感染のリスクを高めます。

禁煙に関する情報やサポートについては、「禁煙」のセクションをご覧ください。

友人にメールを送る

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

WHO: 女性とたばこの流行について (英語 PDF) [更なる情報](#)

WHOたばこフリー・イニシアチブ: 女性の健康について (英語) [更なる情報](#)

ホーム 検索 サイトマップ ご利用規約 インターナショナルサイトに戻る



国を選択  ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

## 依存性について

## より詳しい情報

### 内部リンク

[リスクを低減する製品  
更なる情報](#)

#### ▼ 健康への影響

[喫煙と妊娠  
依存性について](#)

[禁煙](#)

[紙巻たばこに含まれているもの](#)

[環境中たばこ煙](#)

[研究と開発](#)

### 米国食品医薬局の報告

喫煙には依存性があります。喫煙と依存性について、米国食品医薬品局(US Food and Drug Administration)が1995年の報告書で発表した結論は以下のとおりです。

- 喫煙者の87%は毎日喫煙している
- 喫煙者の約3分の2は、起床後30分以内にその日最初のたばこを吸っている
- 1日20本以上たばこを吸う人の84.3%が、喫煙本数を減らそうと試みて失敗している
- 禁煙に真剣に取り組む人でも、その1年後にたばこをやめている可能性は5%以下である
- 現在、喫煙者の70%が完全に禁煙したいと言っている
- 1日に26本以上喫煙する人の83~87%が、自分はたばこに依存していると考えている
- 肺がんの手術を受けた喫煙者のほぼ半数が、再び喫煙を始めている
- 喉頭を除去した喫煙者のうち、その40%が再び喫煙を始めている
- 禁煙を強く望み、最適な療法を受けている成人でも、一週間程度の禁煙に成功することができたのはそのわずか半数に過ぎない。ニコチン代替療法をやめた後では80%以上の人が禁煙に失敗している
- 最近の主な研究では、少なくとも75~90%の喫煙者が、主要な公衆衛生機関が定義する依存の基準に該当する、との結論が出されている

世界中で多くの保健当局が同様の報告を行っており、その結論は明らかです。喫煙には依存性があります。

[友人にメールを送る](#)

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)





PHILIP MORRIS  
INTERNATIONAL

国を選択 ▼ ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

## 禁煙



## より詳しい情報

### 内部リンク

[リスクを低減する製品  
更なる情報](#)

### 外部リンク

[\(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。\)](#)

[米国立がん研究所: 禁煙に関する事実と助言 \(英語\)  
更なる情報](#)

[FTC測定に関する米国保健省の1999年度分析 \(英語 PDF\)  
更なる情報](#)

[たばこ健康に関する英国科学委員会の1998年度報告 \(英語\)  
更なる情報](#)

[タバコ・コントロール・オンライン: 欧州連合\(EU\)の規制に関する1999年度記事 \(英語\)  
更なる情報](#)

[米国立がん研究所: 低タール紙巻たばこの利点についての論争 \(英語\)  
更なる情報](#)

[米国疾病対策センター: 禁煙の手段 \(英語\)  
更なる情報](#)

[Quitnet \(英語\)  
更なる情報](#)

[Dr. ケーブ「たばこ問題への取り組み」\(英語\)  
更なる情報](#)

### 米国公衆衛生総監報告

[\(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。\)](#)

[規制とたばこに関する2000年度報告 \(英語\)  
更なる情報](#)

[禁煙による健康上の利点に関する1990年度報告 \(英語 PDF\)  
更なる情報](#)

[1989年度報告のハイライト \(英語 PDF\)  
更なる情報](#)

- 健康への影響
- ▶ 禁煙
  - 紙巻たばこに含まれているもの
  - 環境中たばこ煙
  - 研究と開発

### 禁煙しようとする場合に理解しておくべきこと

米国で紙巻たばこのパッケージや広告に表示が義務付けられている警告文のひとつに次のようなものがあります。「公衆衛生総監による警告: いますぐたばこをやめることは、あなたの健康上の重大なリスクを大幅に減らします。(SURGEON GENERAL'S WARNING: Quitting Smoking Now Greatly Reduces Serious Risks to Your Health)」。

喫煙による健康上のリスクを減らす最善の方法は禁煙です。公衆衛生当局は、本数を減らしたり、低タール、低ニコチンの製品に切り替えたりすることがリスクを減らすのに十分な方法とはみなしていません。詳細については右のリンクからご覧ください。

また、低タール・低ニコチン製品の相対的リスクに関する議論についても、右の外部リンクからご覧いただけます。

禁煙は難しい場合があります。禁煙を試みたけれどもやめられなかったという方はたくさんいます。しかし、米国をはじめ世界中で、何百万もの人たちが実際に禁煙に成功しており、その大半は第三者に頼ることなく成功しています。禁煙についての詳細は右のリンクからご覧ください。

禁煙したいと思っていながら、なかなかうまくいかないという方のために、グループ・クラス、催眠療法、ニコチン代替療法、喫煙抑制剤など、禁煙に役立つとして紹介されているプログラムや商品があります。米国公衆衛生総監は、「禁煙研究者は喫煙が生理的、心理的、認知的、社会的要素に影響される複雑な行動であることを以前から認識している。一般的に、たいていの禁煙治療での1年間の禁煙達成率は10~40%である」と述べています。禁煙したいと思い、そのためには第三者のサポートが役立つとお考えの場合には、いろいろな方法を検討し、その中からご自分に合ったものを選択されることをお勧めします。

右のコラム上のリンクから、禁煙に関する各種情報をご覧いただけます。

友人にメールを送る





国を選択  ▶▶

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)

[私たちのビジネス](#)

[喫煙と健康](#)

[私たちのビジネス環境](#)

[未成年者の喫煙防止](#)

[社会貢献活動](#)

[プレスセンター](#)

## 紙巻たばこに含まれているもの

## より詳しい情報

### 内部リンク

[リスクを低減する製品  
更なる情報](#)

#### 健康への影響

#### 禁煙

#### ▼ 紙巻たばこに含まれているもの

#### 紙巻たばこの成分

#### タールとニコチンの量

#### 環境中たばこ煙

#### 研究と開発

喫煙には依存性があり、肺がん、心臓病、肺気腫、その他重大な疾病の原因となります。

私たちは、地域や国の規制の有無にかかわらず、たばこのパッケージやカートンに健康警告を表示しています。また当サイトでは、喫煙が健康に及ぼすさまざまな影響についての情報を掲載しています。

紙巻たばこには何が含まれているのか、喫煙者の方々は知っておかれるべきです。このセクションでは次のような情報を提供しています。

- たばこに添加されている成分およびたばこの葉以外の原材料について
- タールとニコチンの量について

たばこの成分、タールとニコチンの量、環境中たばこ煙についての詳細は、左の各項目からご覧ください。

友人にメールを送る

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)



国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

## 紙巻たばこの成分

## より詳しい情報

### 内部リンク

たばこの葉以外の紙巻たばこの原材料  
更なる情報

リスクを低減する製品  
更なる情報

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

米連邦取引委員会のプレスリリース、1999年3月3日(英語)  
更なる情報

ASH: たばこの添加物に関する報告、1999年7月14日(英語)  
更なる情報

- 健康への影響
- 禁煙
- ▼ 紙巻たばこに含まれているもの
  - 紙巻たばこの成分
  - タールとニコチンの量
  - 環境中たばこ煙
  - 研究と開発

### 当社のたばこ製品に含まれているもの

当社の紙巻たばこは、主にたばこの葉で構成されています。

また、当社の紙巻たばこにはさまざまな成分も添加されています。多くの国では政府が紙巻たばこの成分に規制を設けています。例えばドイツのように、当局が使用を認める成分と禁止する成分のリストを発行している国もあります。

私たちは多くの国々で、販売されている当社製品に使用される成分についての詳細なデータをその政府に提供しています。これらの情報をご覧になるには、下記の国名をクリックしてください。

(以下のリンクは英語表示のみとなっています。)

[アルゼンチン](#) [オーストリア](#) [オーストラリア](#) [ベルギー](#) [ブラジル](#) [チリ](#) [デンマーク](#) [フランス](#) [ドイツ](#) [ギリシャ](#) [ハンガリー](#) [アイスランド](#) [アイルランド](#) [イタリア](#) [カザフスタン](#) [リトアニア](#) [ルクセンブルグ](#) [メキシコ](#) [モルドバ](#) [オランダ](#) [ニュージーランド](#) [ノルウェー](#) [ポーランド](#) [ポルトガル](#) [ロシア](#) [シンガポール](#) [スロベニア](#) [スペイン](#) [スウェーデン](#) [スイス](#) [タイ](#) [ウクライナ](#) [英国](#)

他の消費者向け製品と同様に企業秘密として保護したうえで、政府はたばこに使用されている成分を監視するべきであると私たちは考えています。たばこに関する規制についての詳細は、当サイトの「私たちのビジネス環境」をご覧ください。

紙巻たばこには、巻紙やフィルターなど外部の業者から供給される原材料も使用されています。たばこの葉以外の主な原材料については、右のリンクからご覧ください。

喫煙に関する政府の健康警告は、添加成分の有無にかかわらず、たばこの葉と紙だけから成る製品も含め、すべてのたばこ製品に適用されるものです。米連邦取引委員会の消費者保護担当ディレクターは、「添加物のない紙巻たばこが他のたばこより安全であるといった誤った考えを一掃する」ための措置を取るとともに、1999年には「安全なたばこというものは存在しない」ことを明言しています。この件に関連する連邦取引委員会のプレスリリースは、右のリンクからご覧いただけます。

当社としてはこれを否定しますが、当社が有害でニコチンの供給量に影響を及ぼすような成分をいくつか使用しているとの主張があります。右のASHへのリンクから、これらの主張を要約した記事をご覧ください。

友人にメールを送る

ホーム 検索 サイトマップ ご利用規約 インターナショナルサイトに戻る





PHILIP MORRIS  
INTERNATIONAL

国を選択

ホーム 検索 サイトマップ インターナショナルサイトに戻る

私たちのビジネス

喫煙と健康

私たちのビジネス環境

未成年者の喫煙防止

社会貢献活動

プレスセンター

## タールとニコチンの量

## より詳しい情報

### 内部リンク

[参考文献一覧](#)  
[更なる情報](#)

[紙巻たばこの空気孔](#)  
[更なる情報](#)

[リスクを低減する製品](#)  
[更なる情報](#)

### 外部リンク

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

[WHOオスロ研究論文: 26 ページ 低タール製品参考資料\(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[測定に関する1998年の米国たばこ業界コメント\(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[機械による測定値の限界に関する1999年のFTCプレスリリース\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[機械による測定値の限界に関する1999年のFTC分析\(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[タバコ・コントロール・オンライン: 欧州連合\(EU\)規定に関する1999年度記事\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[米国立がん研究所: 低タール紙巻たばこの利点についての論争\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[測定方式の見直しに関するFTCの1998年の文書\(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[オーストラリア政府: 1999年度国家たばこ戦略文獻\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[FTC消費者警告: 「アップ・イン・スモーク: タールとニコチン評価の真実」\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[FTC測定に関する米国保健省の1999年度分析\(英語 PDF\)](#)  
[更なる情報](#)

[たばこ健康に関する英国科学委員会の1998年度報告\(英語\)](#)  
[更なる情報](#)

[米国医学研究所2001年度](#)

- 健康への影響
- 禁煙
- ▼ 紙巻たばこに含まれているもの
- 紙巻たばこの成分
- タールとニコチンの量
- 環境中たばこ煙
- 研究と開発

### その数値が意味するもの、意味しないもの

紙巻たばこの吸い方は人によって異なります。各銘柄に表示されているタール、ニコチンの量は、喫煙者が実際に吸い込む量を正確に示すものではありません。また、その目的で表示しているものでもありません。これらの数値は標準化された測定方式に基づき、さまざまな銘柄を同一の試験環境のもとで機械に「吸わせて」比較し、得られたものです。規制当局がその導入時から述べているように、米国連邦取引委員会(FTC)と国際標準化機構(ISO)の協力で開発されたものも含めて、これらの測定方式ではたばこが機械とまったく同じ方法で吸われた場合の銘柄間の相対的な量の違いが示されます。測定方式についての詳細は右のリンクをご覧ください。

実際に喫煙したとき、表示されている機械による測定値と同量のタールとニコチンを吸うことになると考えている喫煙者の方もいるようです。「タール・ニコチン値を見る際には、実際に吸い込むタール、ニコチンの量は吸い方によってかなり異なるということ十分に理解しておく必要がある。」とFTCは述べています。喫煙者がタールとニコチン量の数値について誤った理解をしているというFTCの記事の詳細については、右のリンクをご覧ください。

「あなたが吸い込むタールとニコチンの量は、たばこの吸い方によって異なります。」

ルース デンプシー サイエントフィック・プロダクト・アセスメント担当ディレクター

当社の銘柄には、タールの数値を参考にして、「ライト」、「ウルトラライト」といった表現を使っているものがいくつかあります。しかし、これらの用語は、機械測定で得られた数値と同様、喫煙者が実際に吸い込むタールとニコチンの量を正確に示すものではありません。これらの用語は「ディスクリプター」と呼ばれるもので、各銘柄をその味の強さやタール測定値といった特徴で比較するのに役立つものと考えています。しかし、「ライト」や「ウルトラライト」の銘柄が「安全」であるとか、フルフレーバーの銘柄より「安全」であるといったことを、私たちがマーケティング活動において示唆することはありませんし、また喫煙者の皆様にもそのようにお考えにならないでいただきたいと思っています。実際、世界保健機関は、低タールのたばこに切り替えても特に健康上の利点をもたらさないと報告しています。「安全なたばこというものはない」と述べているFTCのプレスリリースをはじめ、低タールたばこに関する公衆衛生当局の見解の詳細については、右のリンクをご覧ください。当社銘柄のディスクリプターに関しては、このページの後半で詳しくお伝えしています。

たばこから吸い込むタールとニコチンの量を減らしたいと考えている喫煙者の皆様に、もうひとつお伝えしたいことがあります。タールやニコチン量の少ない銘柄のたばこを吸う場合は、タールやニコチン量の多い銘柄のたばこを吸う場合とは異なる吸い方をすることによって少ない分を「補償する」といわれています。たとえば、吸う回数を多くしたり、大きく吸い込んだり、より短くなるまで吸ったり、あるいはタールの測定値を低くしている空気孔を塞いで吸ったりすることがあります。一般的には、喫煙者がたば

こを強く吸えば吸うほど、吸い込むタールやニコチンの量は多くなります。このような喫煙者の「補償する」行動がタールとニコチンの摂取量にどのように影響するかについてさらにお知りになりたい方は、右のリンクをご覧ください。

報告: 「クリアリング・ザ・スモーク」(英語)  
[更なる情報](#)

英国ASH: 英国紙巻きたばこ生産量に関する1999年度政府報告(英語)  
[更なる情報](#)

タールとニコチン量の機械による測定

測定開始に関する1967年FTCプレスリリース(英語)  
[更なる情報](#)

たばこ会社は、標準化された機械測定方式によって紙巻たばこ一本あたりの平均的なタール、ニコチン量を測定しています。米国では、連邦取引委員会(Federal Trade Commission: FTC)と1967年に開発した「FTC方式」と呼ばれる方式を、その他の国々では国際標準化機構(ISO)が開発した同様の方式を採用しています。これらの測定方式は、同一の試験環境下で機械にたばこを吸わせたときの各銘柄のタール、ニコチンの量を比較し、その量の相対的な差を示しています。

**米国公衆衛生総監報告**

(こちらのサイトは、英語のみの掲載となっております。)

しかし、機械測定では、どの銘柄も同じ方法で「吸われる」こととなります。例えば、FTC方式では機械は1分毎に1回、2秒間、一定の量(35ミリリットル)の煙を吸い込みます。また、フィルターを一定の深さまで挿入することも決められています。他の方式もほぼ同様です。

規制とたばこに関する2000年度報告  
[更なる情報](#)

このような機械による測定方式は、喫煙者が実際に何をどのように吸い込むかを正確に反映することを意図したものではありません。1967年にFTCが現行の測定方式を発表した際に、「人の喫煙状況を正確に再現できる測定方法はなく、許容範囲を相当広くした場合でも、この方法は正しい、あるいは間違っているという決定は下せない。測定の目的は、喫煙者が実際に吸い込むタールやニコチン量を測るのではなく、あくまでも機械がたばこを吸った時の量を測定することである。」と述べています。機械測定の限界について述べたFTCの1967年のプレスリリースをご覧ください。

1997年、FTCはその測定方式の改訂を提案しました。現在、方式の再評価をおこない具体的な改訂案を策定中です。また、米国での機械測定方式についてたばこ業界は1998年にコメントを発表しています。右のリンクからその導入部分をご覧ください。

機械方式にはこのように限界があることから、喫煙者は銘柄のパッケージや広告に印された数値が、喫煙したとき実際に吸われるタールやニコチンの量と同じであると考えべきではありません。また、お好みの銘柄のたばこから吸い込むタールやニコチン量が、他の銘柄と比べて多いか少ないかを正確に示すものと考えべきでもありません。

フィリップ モリスによるディスクリプターの使用

当社の銘柄にはしばしば、「フルフレーバー」、「ライト」、「ウルトラライト」という表現が使われています。こうした用語は「ディスクリプター」と呼ばれ、喫煙者の方々がさまざまな銘柄の特徴を分ける際に役立つものです。

ディスクリプターは主に、その国で販売されているさまざまな銘柄を味の強さやフレーバー、機械測定で得られたタール、ニコチン量などの特徴によって比較するのに役立ちます。しかし、ディスクリプターが、喫煙者が実際吸い込むタールやニコチンの量を正確に示しているとか、他の銘柄と比べて多いか少ないかを正確に示していると考えべきではありません。「ライト」のたばこを吸っていても「フルフレーバー」のたばこと同じ量のタールやニコチンを吸い込んでいる場合があるという研究報告もあります。詳しくは、右のリンクをご覧ください。

フィリップ モリスは、低タール・低ニコチンの銘柄が「安全」である、あるいはフルフレーバーの銘柄より「安全」であるというようなことをマーケティング活動において示唆することはありませんし、喫煙者の皆様にもそのようにお考えにならないでいただきたいと思っています。タール、ニコチンの量に関わらず、当社のすべて

の銘柄には健康警告が表示されています。FTCは、「たばこが健康に及ぼす影響を心配するならば、喫煙をやめるべきである。簡潔に言えば、安全な紙巻たばこというものは存在しない。」と述べています。また、「これまで低タール・低ニコチンのたばこがあると想定されていたいくつかの健康上の利点は存在しないかもしれないことを最新のデータは示している、と米国立がん研究所(National Cancer Institute)と米国食品医薬品局(US Food and Drug Administration)がコメントしている」ことも繰り返し述べています。

この件についての詳細については、右のリンクからご覧ください。

今日では、公衆衛生当局が「リスクが少ない」と認めるような紙巻たばこは存在しないということを心に留めておいてください。喫煙のリスクを心配される喫煙者の皆様にとって、そのリスクを減らす最善の方法は禁煙です。

喫煙者の皆様の嗜好が多岐にわたることから、フィリップ モリスでは、機械測定によるタール・ニコチン量が異なるさまざまな製品を提供しています。今後とも、これに基づいて当社の各銘柄の特徴の違いを伝えていくことは適切だと考えており、「ライト」や「ウルトラライト」などのディスクリプターは、この違いを喫煙者の皆様に伝えていくのに役立つものと考えています。

友人にメールを送る

[ホーム](#) [検索](#) [サイトマップ](#) [ご利用規約](#) [インターナショナルサイトに戻る](#)